

QRコード耐洗ラベル(白)の貼付例と注意点



耐洗ラベル(白)は、アイロンで圧着する耐久性の高い布製ラベルです

※このQRコードはサンプルです

- 耐洗ラベルは必ず「アイロンで熱圧着して使用」します(下記参照)
- アイロンは高温・スチーム無しに設定し、10～15秒程強く押さえつけるようにかけます
- きちんと貼付すると家庭で洗濯機や乾燥機にかけても200～300回程度は使用が可能です
- 直接縫い付けることは避けてください。ニット等に貼付する際は「一回り大きな薄手の布」に熱圧着してから縫い付けてください
- 紛失や足りなくなった時は、追加購入が可能です。自治体担当者に連絡してください

| 素材・特性など | 貼付可否 |
|--|------|
| 綿 | ◎ |
| 麻 | ◎ |
| 綿・麻・ポリエステルなどの混紡 | ○～△ |
| ポリエステルなどの化繊 | △ |
| レーヨン・綿・ウール・ナイロン・皮革など | × |
| ※表面が毛羽立っている素材 ※防水・はっ水加工処理されているもの ※熱に弱い素材 | × |

見落とし防止に目に付きやすいところに複数枚貼りましょう!



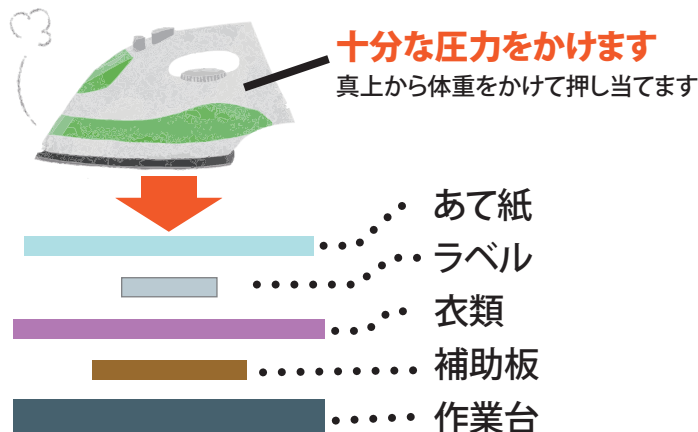
貼付けのポイント

- 発見者がQRコードを読み取る時、ご本人が警戒しない箇所
ご本人の衣服の上衣前面に貼付することはできるだけ避ける
- 発見者の視界に入りやすい箇所
ご本人の衣服の下衣、靴などではできるだけ避ける
- いつでも持ち歩いているもの
杖などの歩行に使用する器具や帽子など

QRコード耐洗ラベル(白)の貼付け方

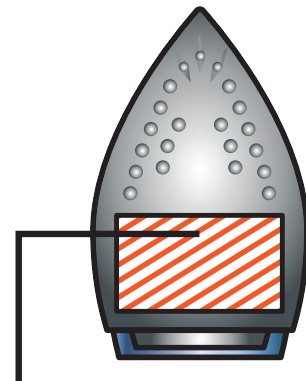
① アイロンの電源を入れ、高温・スチームなしに設定しておく

② ラベルを貼付け位置にセットする



※インクの汚れがアイロン面に写らないよう、無地のコピー用紙等をあて紙にします
※十分な圧力がかかるため補助板(厚紙、コルク板など)を下に敷き、アイロンは左右にスライドさせるのではなく、**上から押し付ける**ようにかけます

③ 10～15秒程強く押さえつけるようにプレスする



スチームの噴出し口を避けて、図の斜線部分でプレスする

※アイロンを連続して使用すると温度が下がります。コードレスアイロンの場合は十分に注意してください
※ビニールやナイロン等、熱に弱いものや、表面に防水、撥水加工されているものには貼付けられません

QRコード蓄光シール(黄色)の貼付例と注意点



蓄光シール(黄)は、夜間や暗い場所で発光する樹脂製シールです

※このQRコードはサンプルです

- 貼付前に表面の水分・油分・ホコリなどをきれいに拭き取ってから使用してください
- 同封の透明カバーフィルムを蓄光シールの上に重ね貼りしてください
- できるだけ平面にシワにならないように貼付してください
- 一度剥がしたりすると粘着力が低下します
- 暗所に置いておくと蓄光しない為、光りません
- 水分を多く含む素材は剥がれやすくなります
- 未使用分を保管する際は、直射日光が当たる場所や高温多湿の場所は避けてください

| 素材・特性など | 貼付可否 |
|--|------|
| ナイロン・ビニール | ◎ |
| 皮革・合成皮革 | ○ |
| プラスチック・陶器・金属など | ◎ |
| ※比較的洗濯しないもの | ○ |
| ※防水・はっ水加工されている ※凹凸・毛羽立ち・シワ加工等 ※頻繁に洗濯などをするもの ※伸縮性が強い ※油分を含んでいる ※水分を含みやすい | × |

見落とし防止に目に付きやすいところに複数枚貼りましょう!

おすすめ

歩行時に必ず使用する物品に貼りましょう



おすすめ

外出時に持ち歩いたり、身につけることが多い様々な物品に貼りましょう



ラベル・シール 注意事項

貼付時の注意点

靴のかかとも貼れますが
おすすめしません



おすすめしない理由

- QRコードが読み取りにくい
- かかとを踏むとはがれやすい
- 土などの汚れで見にくい
- 表面が削れると読み取れない

衣服内側への貼付けを
おすすめしない理由



発見者がラベル・シールを見つけることができない
確認する際にご本人に負担がかかる

アイロンが使用できない
箇所への貼付け方



セーター等アイロンが当てられない箇所へ貼付けたい場合は、お手持ちの布にアイロンで貼付けてから衣服に縫い付けてご使用ください